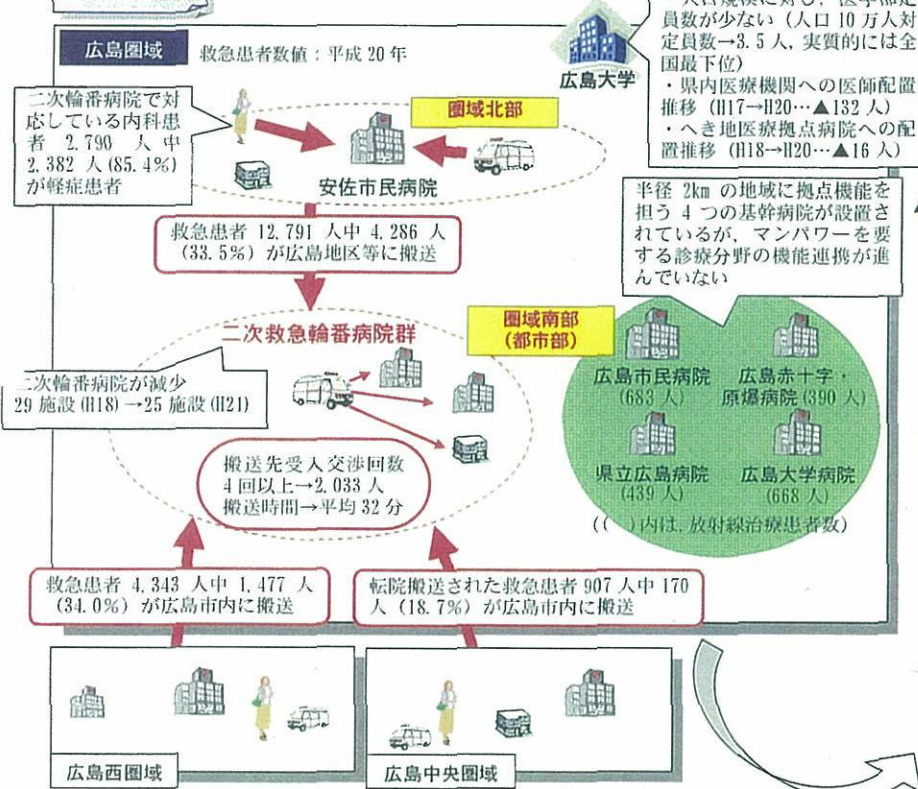
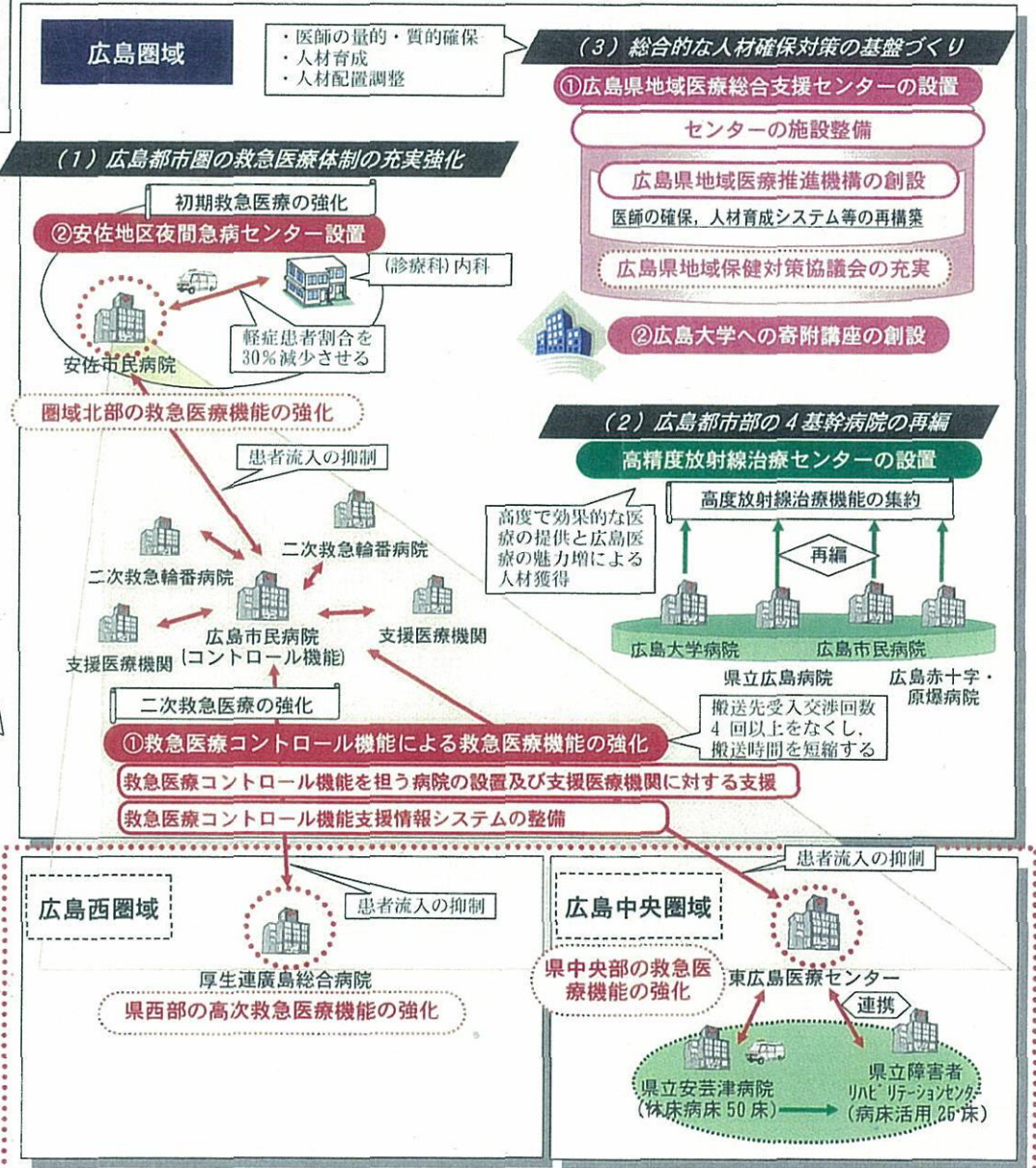


現状



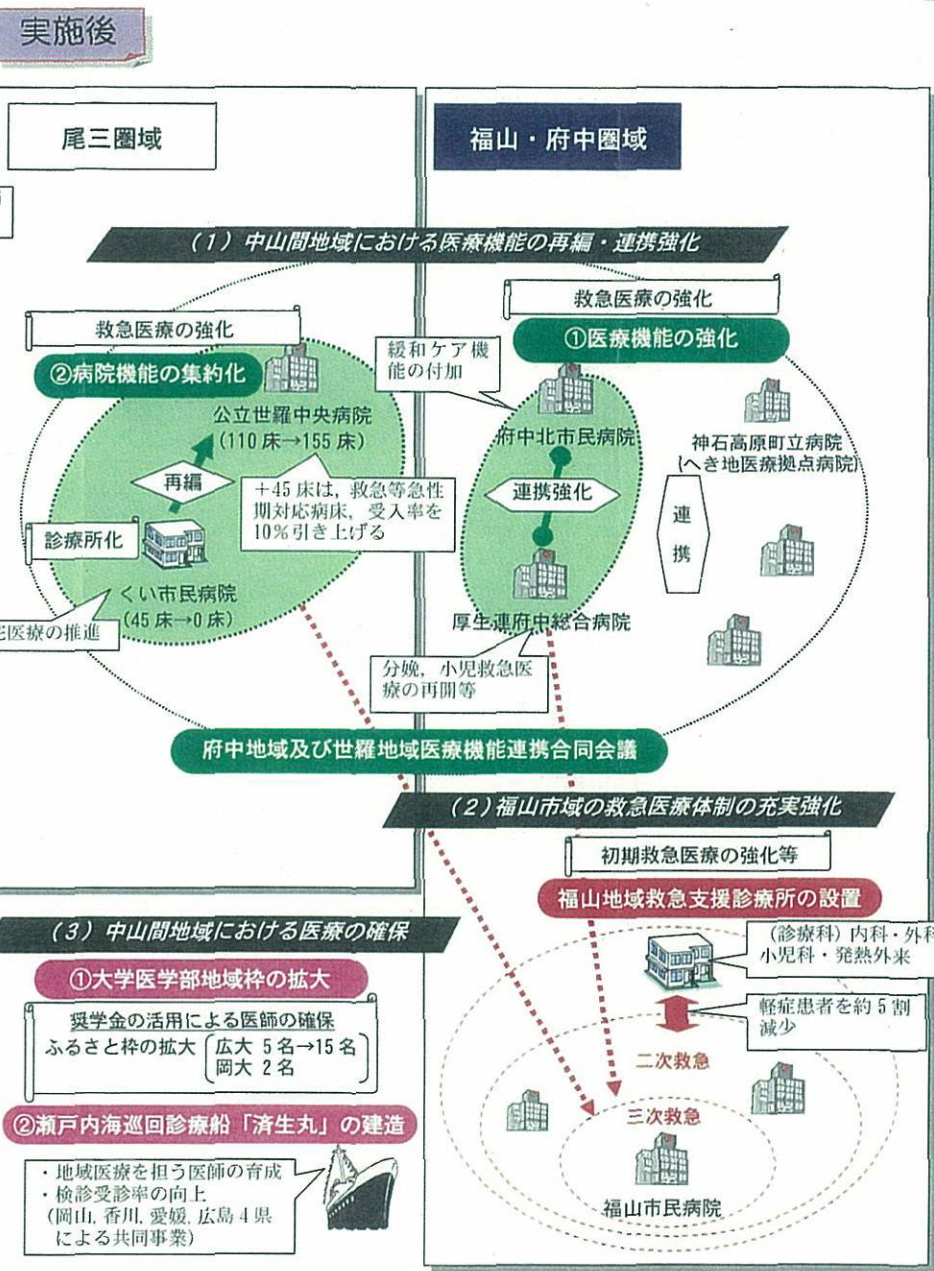
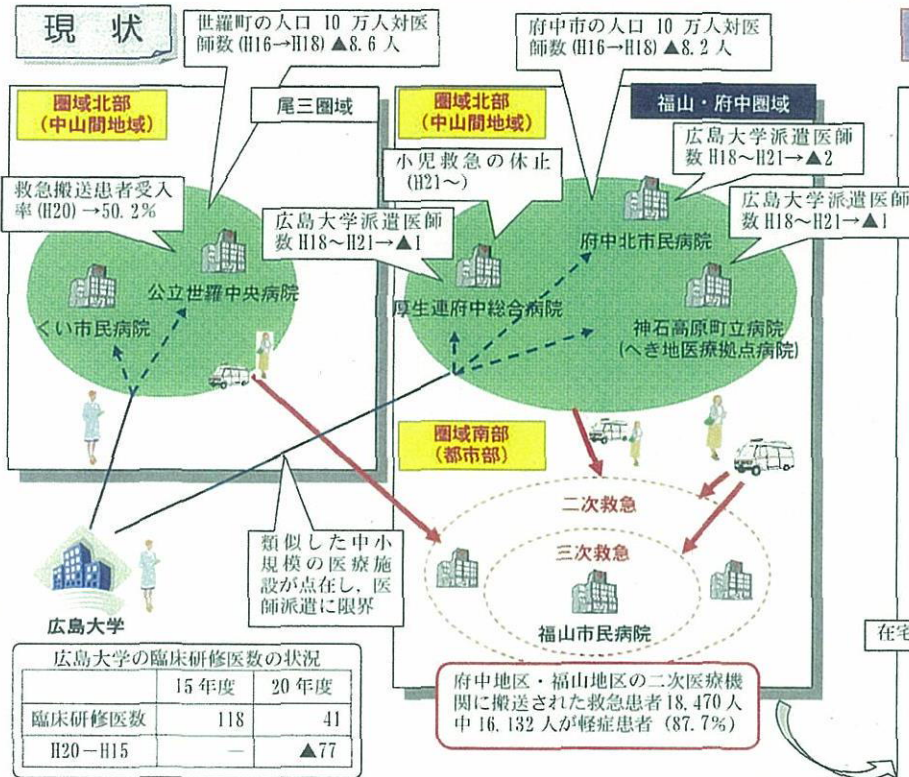
実施後



課題

- (1) 勤務医の減少, 二次救急輪番病院の減少, 救急搬送件数の増加により, 更なる救急担当医師の減少を招き, 勤務環境の相対的悪化という悪循環が生じているため, 効率的な救急医療体制の整備が必要である。
- (2) 都市部基幹医療施設間の施設連携・施設統合を行うことにより, 高度化・多様化する高度医療ニーズに対応することが必要である。
- (3) 深刻な医師不足の状況の中で, 都市部, 中山間地域双方の医師不足の悪循環を断ち切るために, 医師の量的・質的確保に向け, その打開策となる新たな支援システムの構築が必要である。





**課題**

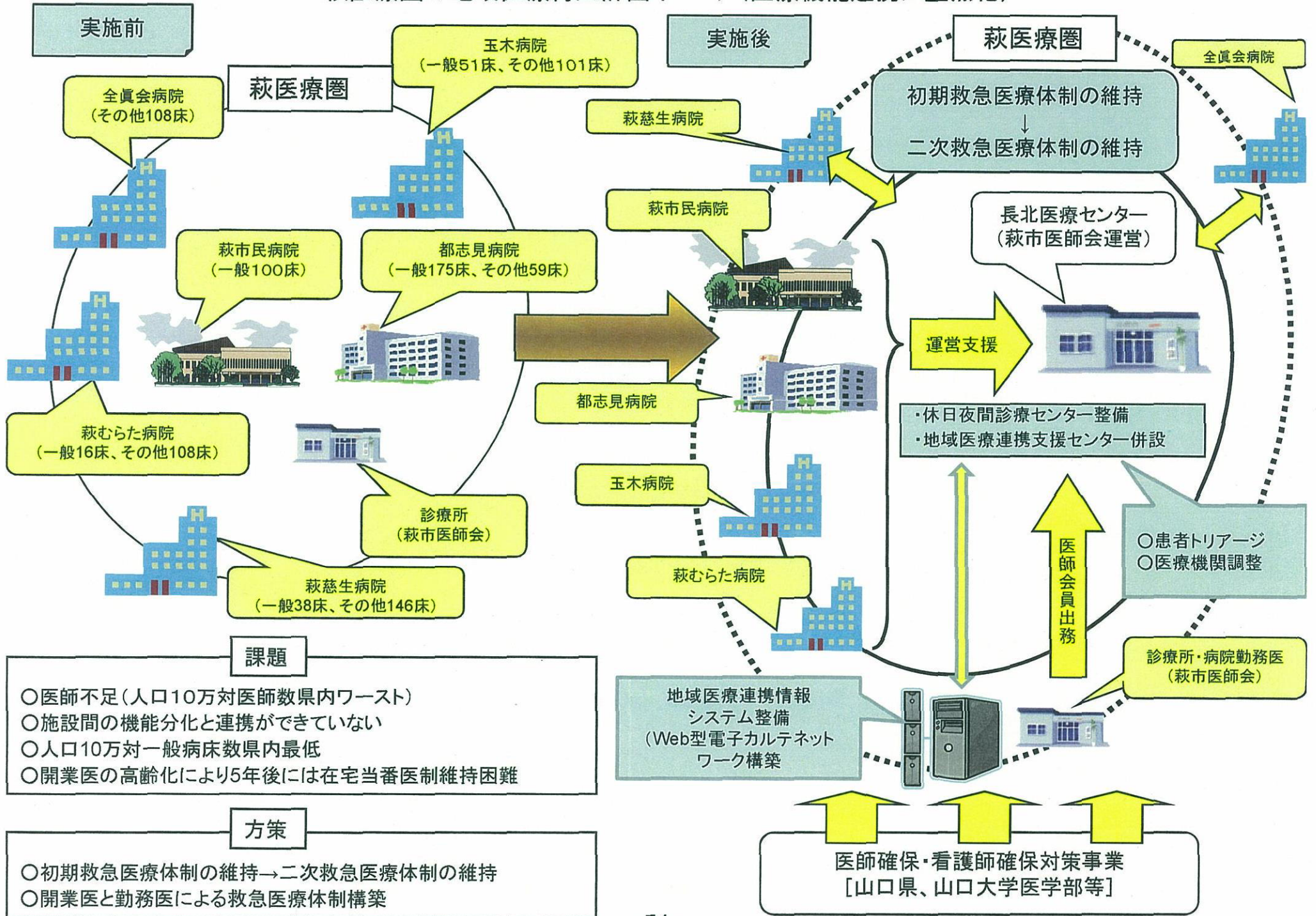
(1) 医師不足が直撃している中山間地域の医療体制を維持していくためには、公立病院等における医療機能の集約化や再編が必要である。

(2) 勤務医の減少、救急搬送件数の増加により、更なる救急担当医師の減少を招くという悪循環が生じているため、二次及び三次救急医療機関の負担を軽減し、救急医療体制を維持するための初期救急医療体制の整備が必要である。

(3) 唯一の医育機関である広島大学医学部は、人口規模に対して定員数が少なく、また、臨床研修医数が、中国地方で最も減少していることから、医師の絶対数の確保が重要である。

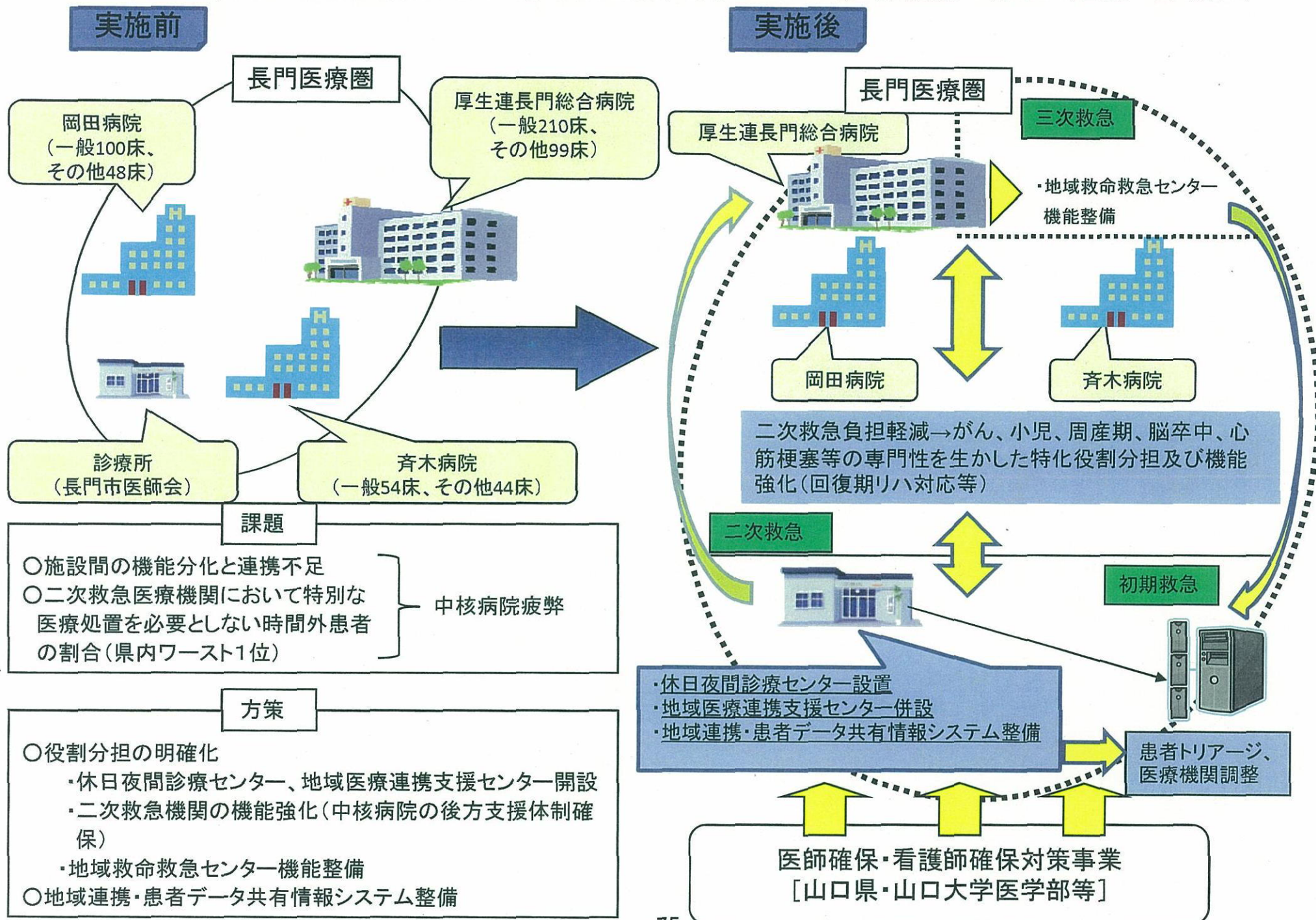


# 萩医療圏の地域医療再生計画イメージ(医療機能連携に重点化)





# 長門医療圏の地域医療再生計画[地域実施事業]イメージ(医療機能の分化と連携に重点化)





# 東部 I 医療圏

現状

## 総合メディカルゾーン

救命救急センター  
小児救急輪番  
災害拠点病院



県立中央病院(500床)



徳島大学病院(696床)

総合周産期母子  
医療センター  
(NICU 6床)



2次救急  
小児救急輪番  
災害拠点病院

健保鳴門病院(307床)



2次救急  
小児救急輪番  
(NICU 6床)

徳島市民病院(397床)



徳島県医師会  
徳島市医師会

### 東部 I 医療圏の課題(その1)

- ① 救急医療体制  
2次、3次救急への患者の集中、救急従事医師の不足・疲弊、小児救急医療拠点病院の不存在、周産期救急に係るNICU等の收容能力不足 など
- ② 医療機関の機能分化・連携  
圏域内医療機関の適切な機能分担と有機的な連携が不足、医療情報ネットワーク基盤の未整備 など
- ③ 医療従事者の養成・確保  
救急・産科・小児科・外科医の不足、へき地に派遣する医師の不足、看護師等の不足 など

東部 II



国立病院機構  
徳島病院(300床)

南部 I



徳島赤十字病院(405床)

### 地域医療再生計画による課題解決

東部 I

## 総合メディカルゾーンの機能強化



① ドクヘリ基地病院化

① 寄附講座による  
救命救急の強化

① 小児救急医療  
拠点病院化

③ 研修環境等の  
整備による医療  
従事者確保

② がん対策センター設置

県立中央病院(460床)  
H23年度改築完成予定

徳島大学病院(696床)  
新病棟も続々完成

① NICU増床、  
母体搬送コー  
ディネーター設置

③ 寄附講  
座の設置、  
医学部定員  
増による医  
師確保

③ 総合メディカルトレーニングセンターの設置

② 連携・分担



健保鳴門病院(307床)

② 連携・分担



徳島市民病院(397床)

① NICU専任看護師研  
修(メディカルゾーンの  
バックアップ)

① 会員による  
応援診療  
に助成

徳島県医師会  
徳島市医師会

② 連携・分担

東部 II



国立病院機構  
徳島病院(300床)

① NICU  
後方病室  
整備

- ①②③ 地域医療再生創造機構による総合調整・各種事業の実施
- ② 医療機関の情報ネットワーク化、地域連携パスの策定
- ① メディカルクラークの設置促進
- ① 小児救急電話相談事業(#8000)の拡充
- ③ 修学資金拡充による看護師等確保 など

② 連携・分担

南部 I



徳島赤十字病院(405床)